

PARKI'N : WEB3 DATA COLLECTION SYSTEM

PARKI'N project

July, 2025

概要

WEB3 の社会実装にはさまざまな可能性があるが、その中でも特に注目すべきは、インセンティブ設計を活用した社会的な共同作業モデルである。誰かの作業が、他者による確認を経て、さらに別の誰かの役に立ち、結果として報酬が参加者へ公平に付与される。このようなネットワーク型貢献構造は、個々の営みが集積されることで大きな社会課題の解決へとつながる可能性を持つ。

本プロジェクトでは、そうした WEB3 的な社会設計を駐車場の情報整備に応用することで、都市交通の非効率性の一因である「駐車場探し」の課題に対処しようとする。情報の登録・確認・利用の各プロセスにおいて NFT とトークンを活用し、報酬付与と権利設計を分散的かつ透明に設計することを目指す。

はじめに

本システムは日本市場を初期対象として構築される。国や地域によって駐車に関するルールや文化が異なるため、グローバル展開は慎重な段階的拡張を予定する。まずは日本の都市部における実用性と社会実装性を高め、その後、地域ごとのニーズに応じた調整を加えつつ、他国展開も視野に入れる。

解決すべき課題

日本の都市部において、自家用車による移動は駐車場問題により高いハードルがある。主な課題は以下の通り：

- ・ 駐車場を探すことが難しい（又は面倒）
- ・ 駐車場の料金体系を事前に知ることが難しい
- ・ 停められるスペースがあるかが行くまで分からない

さらに将来、自動運転車が普及した社会においても、事前予約や自動決済といった仕組みは不可欠である。しかし現状では、信頼性や網羅性に欠ける地図情報、虚偽がまかり通るユーザー投稿、割高な大手駐車場しか見つからないなど、多くの課題が残っている。

フロントライン設計概要

PARKI'N SNAP：駐車場情報 DB 構築システム

1. 駐車場情報の登録 (Snap：スナップ)

ユーザーは専用アプリ「PARKI'N SNAP」を通じて駐車場の料金看板を撮影（スナップ）し、GPS 情報付きでアップロードする。

2. 駐車場情報の確認 (Confirm：コンファーム)

スナップされた情報は

① AI チェック：画像解析により昼夜料金等を自動抽出

② 管理者チェック：①の結果と人力により誤認識・偽情報等を精査を経て有効性がチェックされ、情報の DB 登録とともにマスター NFT が発行される。

3. 駐車場情報の更新 (Revision：リビジョン)

料金改定等が確認された場合は、リビジョンとして新スナップを通じて更新可能。更新が承認されると、実行者には新たな NFT（マスター NFT）が付与され、旧 NFT の権利はサブ NFT として調整される。

NFT を 1,000 枚以上保有している主体は PARKI'N SNAP により構築されたデータベースの情報全体を利用可能となる。すなわち、PARKI'N プロジェクトに対して一定の貢献をすることで、さまざまなサービスを開発することが可能となる。

保有数については自らが NFT を撮影から行う必要はなく、スマートコントラクトにステータリングされた数量もカウントされるため、他の NFT 保有者からの協力を得ることで、必要数量を集めることもできる。

PARKI'N GO：駐車場情報検索アプリ

PARKI'N SNAP のデータベースをもとに、ユーザーは「目的地」「到着時間」「滞在時間」などを入力し、周辺の駐車場を料金や距離に基づいて検索できる。

- ・無料プラン（広告付き）

- ・有料プラン（500 円／月）

検索結果表示に応じて報酬がトークンで付与され、NFT 所有者に還元される。

WEB3 設計概要

NFT の活用

- ・ 駐車場情報 NFT は、報酬付与の受領権を持つ
- ・ 保有数や履歴に応じて API 利用回数が決まる
- ・ 将来的には称号 NFT・地域制覇 NFT など多様な展開も可能

自前 UI と外部連携

- ・ NFT 情報や報酬、利用履歴を表示する「PARKI'N Wallet」画面を提供
- ・ 価格履歴・報酬履歴・スナップ履歴等をメタデータとして付与

柔軟な施策導入に向けた設計方針

プロジェクトの活性化や参加者エンゲージメント強化のために、NFT の保有数や貢献履歴に基づくボーナス、期間限定イベント、称号 NFT の発行など、WEB3 ならではの設計自由度を活かして柔軟に展開していく。

報酬付与モデル（概要）

- ・ 検索表示、目的地設定などユーザー行動に基づいてトークンを付与
- ・ 付与対象は「駐車場探し」の課題に対処・貢献した NFT 保有者
- ・ リビジョン時には報酬権が調整され、情報の正確性を保つ

今後の展望

- ・ DAO 移行によるコミュニティ主導のアップデート推進
- ・ エリア拡張とともに NFT の地理的コレクション性を強化
- ・ 外部アプリ連携、予約機能、広告モデル等との接続

市場規模と見通し

概要

公開されている調査によると、2020年3月時点で日本の駐車場数は83,229か所、534万台分。同時点での免許保有者数は8,199万人。ペーパードライバーは30%弱と推計されているため(*1)、5,740万人が全体の市場規模。そのうち、駐車場検索ニーズのある層がターゲットとなる。

*1 免許を持っている女性の36.6%は「ペーパードライバー」男性の割合は？

<https://news.mynavi.jp/article/20170228-a295/>

2年後のPARKI'N GOユーザー数をそれぞれ2.5万、5万、30万と想定したときの各シミュレーションは以下の通り。

想定ユーザー数	25,000	50,000	300,000
有料ユーザー数	5,000	10,000	60,000
無料ユーザー数	20,000	40,000	240,000
月間売上	4,500,000 円	9,000,000 円	54,000,000 円
登録施設数	45,000	45,000	45,000
マスターNFT 報酬（年間）	450 円	900 円	5,400 円
マスターNFT 現在価値 （金利 3%・永年）	15,000 円	30,000 円	180,000 円

<諸元>

- ・有料ユーザー数比率 20%
- ・有料ユーザー売上 500 円/月 無料ユーザー売上 100 円/月
- ・マスターNFT 報酬計算式：売上／施設数＊75％＊50％

以 上